

# MITO FIRST JUNIOR HIGH SCHOOL SCHOOL GUIDEBOOK 2026

最高の出会いと  
出番がある





# 創立147年の水戸一高と六年

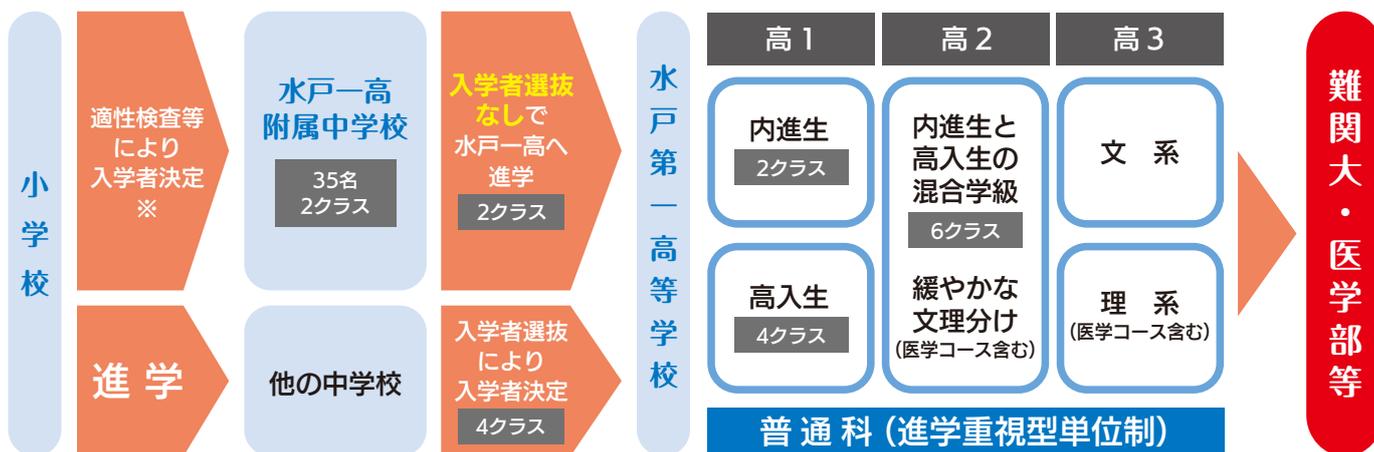
本校は、県下随一147年もの歴史を誇る水戸第一高等学校の附属中学校として、令和3年4月に開校しました。新設校ならではの最先端の取組と、伝統校がたくわえてきた豊富な学習資源の活用により、ここにしかない学び、最高の出会いと出番を用意しています。

## ／ 中高一貫による充実した教育体制 ／

- 「学問第一」を掲げ、高校と同じく、質の高い60分授業を実施
- 英語・数学等で、高校の内容の先取り学習や習熟度別授業を展開
- 中高6年間を見通し、第一志望合格へと導く、手厚い進路支援

## 進学 の 仕 組 み

※ R8年度からの予定です



※入学選抜の詳細は、茨城県教育委員会のホームページでご確認ください。

## ／ 世界に広がる・世界を広げる学び ／

- 高1までに、世界4か国で学べるシステム(その他の国際交流・海外進学等もサポート)
- 中3** シンガポールでの海外研修(令和7年度よりマレーシアを追加): 全員参加  
アメリカ(サンフランシスコ・シリコンバレー)又は台湾への派遣: 希望者から選抜
- 高1** アメリカ(サンフランシスコ・シリコンバレー)又は台湾への派遣: 希望者から選抜



▲シンガポール国立大学訪問



▲スタンフォード大学訪問



▲台湾大学訪問

- 英語ネイティブの教員・ALTによる授業やイングリッシュキャンプ、語学研修
- 東大探訪(中3)、京大探訪(中2)、オープンキャンパスへの参加

# 一貫で充実した教育活動を展開

## 人間性をバランスよく高める取組

○「至誠一貫」と「堅忍力行」を校是とし、裏表のない誠実さと、最後までやり抜く力を育成



▲最後の将軍、徳川慶喜公の書



▲近代外科医の魁、佐藤進先生の書

- 生徒の自主・自立の精神を最大限尊重する、自由な校風
- 21市町村から通う、優秀で個性豊かな生徒どうしの切磋琢磨
- チーム担任制により、きめ細かに生徒の成長をサポート
- 多様な興味・関心に応じた体験型部活動、職業体験・農業体験等



## 恵まれた学習環境

- 水戸城本丸・下の丸跡にある、歴史と自然あふれる校地
- 明るいガラス張りの校舎、広々とした体育館、豊富な蔵書を誇る図書館
- 1人1台ICT端末を無償貸与。体育館を含め校内全域に高速Wi-Fiが完備
- 各界のリーダーとして国内外で活躍する卒業生約4万人が教育活動に協力



## 各界で活躍する水戸一高の卒業生

水戸一高の卒業生は約4万人に及び、各界のリーダーとして活躍しています。

例えば、本邦初の都市間連絡飛行に挑んだパイロット・武石浩玻氏(明治35年卒)、学生野球の父と呼ばれ「一球入魂」の言葉でも知られる飛田穂洲氏(明治40年卒)、水戸空襲で焼け野原となった本校でオセロゲームを考案した長谷川五郎氏(昭和31年卒)、建築界のノーベル賞と呼ばれるプリツカー賞を受賞し、校内の江山閣(表紙、裏表紙の写真の建物)も設計した妹島和世さん(昭和50年卒)、本校の歩く会をモチーフにした小説「夜のピクニック」でも知られる作家・恩田陸さん(昭和58年卒)、日立製作所社長の徳永俊昭さん(昭和60年卒)など、多士済々にわたります。



民間パイロットの魁  
武石 浩玻 (明治35年卒)



学生野球の父  
飛田 穂洲 (明治40年卒)



建築界のノーベル賞  
妹島 和世 (昭和50年卒)

## ／ 中高・学年の枠を超えた他校にはない教育プログラム ／

高校と協働して多彩な教育プログラムを実施しています。その中心が、和が4になる2学年(高1と中3、高2と中2、高3と中1)が合同で活動する「+4学年活動」です。

### 高1 & 中3 発達段階の近さを活かし、共に学問や世界への関心を高める

- 文理・融合講座(各分野の研究者による最先端の講義)
- 米中派遣(希望者を米中二方面に派遣。学校独自の奨学金も用意)



▲米中派遣(サンフランシスコ)

### 高2 & 中2 中だるみを排し、自己や社会に対する探究を深める

- キャリア探究対話(第一線で活躍する各分野の社会人との対話)
- 探究力向上セミナー(大学研究者等に探究の技法を学ぶ講座)



▲キャリア探究対話  
(教育系YouTuber 葉一さん)

### 高3 & 中1 中高のスタートとゴールに当たり、やり抜く力を高める

- GRITセミナー(医学・心理の専門家による最後までやり抜く力を高める講座)



▲心に火をつけるフォーラム  
(ノーベル平和賞ムハマド・ユヌス博士)

また、+4学年を3階建て校舎の同じフロアに配置し、生徒どうしの日常的な交流を促進。例えば、中1生は、同じフロアの高3生の背中に日々学んでいます。

さらに、全学年合同で、著名人を講師に招いた「心に火をつけるフォーラム」や、公的機関のリーダーによる講演や国会・霞ヶ関で研修を行う「パブリックリーダースクール」、探究成果を大ホールで披露する「知道プロジェクト発表会」、硬式野球部全校応援等を実施しています。



▲パブリックリーダースクール

## ／ 足元から始める探究活動 ／

水戸城跡に立地する最高の環境を活かし、自校に関連する歴史、文化、自然、偉人等を知るところから探究活動を始め、その成果を校内ガイドツアー「水戸一の道」で披露するとともに、探究のフィールドを茨城、日本、世界へと広がっていきます。



▲校内ガイドツアー「水戸一の道」



▲校内フィールドワーク



▲生徒作成の御城印

# 密度の濃い教育課程

※R7年度のものです

学習指導要領の標準時数よりも3年間で420時間多く設定し、教育活動の充実を図っています。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33
1年	国語 4				社会 3			数学 5(+1.0)					理科 4(+1.0)			音楽 1.5 (+0.2)	美術 1.5 (+0.2)	保健体育 3			技術・家庭 2		外国語 5(+1.0)				道徳 1	総合 2 (+0.6)	学活 1				
2年	国語 4.5(+0.5)				社会 3.5 (+0.5)			数学 5(+2.0)					理科 4			音楽 1	美術 1	保健体育 3			技術・家庭 2		外国語 5(+1.0)				道徳 1	総合 2	学活 1				
3年	国語 4.5(+1.5)				社会 4			数学 5(+1.0)					理科 4.5(+0.5)			音楽 1	美術 1	保健体育 3			技術・家庭 1		外国語 5(+1.0)				道徳 1	総合 2	学活 1				

※( )内の数字は、標準授業時数よりも増加した週当たりの時間数を表しています。

## 手厚い進路支援

水戸一高では、生徒の第一志望実現に向けたサポート体制(進路支援部)を整え、難関大学や医学部医学科などに多くの合格者を輩出しています。令和2年度には、医師を志す者を対象とした医学コースを、令和5年度には、第一志望を貫き捲土重来を期する一浪生をサポートする「知道凶南会」を新設するなど、進路支援を強化しています。施設面でも、エアコン・Wi-Fiを完備し、平日夜間や土曜日にも利用できる学習館を設置し、集中して自習できる環境を整えています。さらに、中学独自の取組として、「フォローアップ学習会」を放課後に開催し、個に応じた学習支援をしています。



▲自習にも最適な図書館



▲フォローアップ学習会

### ■主な大学への合格実績

( )内は既卒合格者数

種別	大学名	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	平成31年度	平成30年度
	卒業生数	236	281	315	318	317	318	321	314
国立	北海道	11 (5)	12 (1)	12 (6)	7	9 (1)	13 (4)	9 (5)	8 (1)
	東北	17 (5)	27 (7)	28 (9)	25 (7)	38 (7)	31 (12)	31 (18)	26 (7)
	茨城	8 (4)	19 (4)	17 (7)	28 (8)	35 (3)	34 (10)	25 (3)	17 (2)
	筑波	27 (3)	36 (12)	41 (8)	23 (6)	23 (5)	35 (11)	28 (8)	31 (11)
	東京	7 (4)	11 (5)	15 (4)	14 (3)	23 (3)	8 (3)	8 (5)	6 (2)
	東京科学	6 (1)	5 (1)	2 (1)	3 (1)	3	5 (3)	4 (1)	7 (5)
	東京藝術	1	1	1 (1)	0	1	0	0	1 (1)
	一橋	5	1 (1)	4 (1)	4 (2)	2	1	5 (2)	4 (2)
	名古屋	1 (1)	1	4 (1)	0	4 (2)	2 (2)	2 (2)	2
	京都	6 (4)	6 (2)	7 (2)	5 (2)	3 (2)	5 (3)	4 (1)	2
	大阪	5	2 (1)	7 (4)	1	2 (1)	2 (2)	7 (4)	2 (1)
	九州	0	1	2	1 (1)	5 (2)	2	2 (1)	0
	国立計	141 (46)	171 (46)	202 (66)	169 (46)	227 (53)	225 (77)	188 (67)	174 (55)

種別	大学名	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	平成31年度	平成30年度
	卒業生数	236	281	315	318	317	318	321	314
私立	早稲田	45 (14)	29 (10)	58 (32)	58 (23)	28 (12)	45 (27)	38 (21)	44 (28)
	慶應義塾	21 (8)	19 (10)	33 (13)	30 (13)	15 (3)	25 (16)	22 (15)	18 (9)
	上智	15 (2)	11 (2)	11 (4)	17 (1)	8 (4)	11 (5)	8 (1)	10 (8)
	東京理科	72 (33)	78 (43)	104 (52)	68 (40)	48 (25)	82 (54)	76 (57)	61 (50)
	私立計	604 (264)	673 (274)	780 (333)	753 (351)	838 (463)	1005 (588)	687 (420)	593 (376)

- 医学部医学科合格者は29名(うち国立現役合格者14名は過去最多。県内最多。全国の公立中高一貫校で最多。)
- 難関私立大学に153名合格。県内最多。
- 京都大学合格者は4年連続5名以上。県内最多。
- 筑波大学合格者は16年連続20名以上。
- 東京藝術大学に3年連続合格。

# 充実した学校生活

## 中学1年生の一週間のイメージ [60分授業]

		月	火	水	木	金
	～ 8:15	登校完了 朝読書				
	8:15～ 8:20	朝の会 (健康観察 出席確認)				
1	8:25～ 9:25	数 学	保 健 体 育	英 語	音 楽	理 科
2	9:35～10:35	英 語	社 会	数 学	国 語	道 徳
3	10:45～11:45	国 語	英 語	国 語	社 会	国 語
	11:45～12:35	給食・昼休み				
4	12:35～13:35	技 術	数 学	社 会	数 学	保 健 体 育
5	13:45～14:45	理 科	理 科	家 庭	保 健 体 育	英 語
6	14:55～15:55		美 術	委員会活動等	総合的な 学習の時間	学 級 活 動
放 課 後	完全下校時刻 3月～10月初旬 18:00	学習の振り返り 14:45～14:55 帰りの会 14:55～15:00	学習の振り返り 15:55～16:05 帰りの会 16:05～16:10	学習の振り返り 14:45～14:55 帰りの会 14:55～15:00	学習の振り返り 15:55～16:05 帰りの会 16:05～16:10	学習の振り返り 15:55～16:05 帰りの会 16:05～16:10
	10月中旬～2月 17:30	そうじ 15:00～15:15	部活動体験	そうじ 15:00～15:15	部活動体験	そうじ 16:10～16:25

### 授 業



水戸一高と同じく、「授業第一」で質の高い60分授業を行っています。一方通行ではなく、協働的な学びも多く取り入れています。

### 給 食



世界各国を特集したメニューなど、工夫を凝らしながら、温かい給食を毎日提供しています。給食係が工夫して、楽しいひとときを過ごします。

## 委員会活動



月1回程度、SDGs委員会やリサイクル委員会など、希望する委員会で活動します。例えば、図書委員会では、書店に出向き、図書館に置く本を選ぶ活動もしています。

## 学級活動・振り返り



学活の時間では、生徒主体で様々な活動を行います。また、1人1台貸与されているタブレットを使って、1日の振り返りを入力します。内容は先生方に共有され、助言も受けられます。

## そうじ



係で分担し、自分たちで校内をそうじし、美しく保ちます。

## 部活動体験



創部134年の硬式野球部など、高校にある多様な部活動を体験できます。なお、本校は中体連には加盟していません。クラブチームなどで校外の大会等に参加できます。

## 制服



制服と体操服は指定のものを着用します。  
任意での購入品として、夏用スラックス(スカート)、水色シャツ(ポロシャツ)、セーター、ベストがあります。  
冬用標準服ではネクタイを着けます。靴やバッグ・上ばきの指定はありません。

## 他校では体験できない充実した学校行事

### 学苑祭

毎年7千名前後もの来場者がある、水戸一高の伝統行事です。中学生は「中学生大賞」を目指し、各クラスで企画を競います。



### 歩く会

一昼夜かけて60km以上を歩く、水戸一高の伝統行事です。中学生も、朝から夕方まで、約25kmを集団で歩きます。



### クラスマッチ

バスケットボールやオセロなど、多様な種目で各クラスが競います。中高合同で行う種目もあり、カルタで中学のクラスが優勝したこともあります。



### 海外研修

中3の秋にシンガポール・マレーシアを訪問し、学校や文化施設等を訪問したり、学生や社会人と交流したりします。



## 国内研修

中2の秋に関西を訪問し、日本の歴史・文化に触れたり、大学を訪問したり、学生や社会人と交流したりします。



## 全日校外学習

中2・中3の4月下旬頃、学年ごとに一日かけて県内各地を訪問し、体験活動を通じて学びや親睦を深めます。



## 語学研修

中3の春、校外の研修施設において、泊まりがけで英語づけの生活を送り、コミュニケーション能力を高めます。



## 農業・地域探究

中2の春又は秋に、農業の現場を訪問し、農作業を体験するとともに、過疎化が進む地域の振興策を探ります。



## 知道プロジェクト発表会

校外の大ホールで開催される研究発表会です。高校生の発表がメインですが、中1・中3も特別発表を行います。



## 全校野球応援

毎年、夏の甲子園に向けた県大会において、水戸一高硬式野球部を中高合同で応援します。



## 全日探究

中1の4月下旬頃、中高の他学年が校外に出ている日に、歴史等の講演や校内の自然等の探索を行います。



## 駅伝大会

毎年冬、学校近辺の那珂川沿いで駅伝大会を行います。3学年の縦割りでチームを編成し、たすきをつなぎます。



## 学校説明会

小学6年生と保護者向けに夏休みに開催する説明会も、生徒が中心となって運営しています。



## 年間行事予定

4月

始業式／入学式  
第1回学力推移調査  
オリエンテーション研修(1年)  
探究力向上セミナー(2年)

5月

全日探究・校外学習  
奨学会総会  
GRITセミナー(1年)  
クラスマッチ

6月

学苑祭

7月

第1回実力試験  
硬式野球部全校応援  
終業集会／夏季休業  
保護者面談

8月

学校説明会  
パブリックリーダースクール

9月

始業集会  
第2回学力推移調査  
心に火をつけるフォーラム  
中間成績発表

10月

歩く会  
海外研修(3年)  
文理・融合講座(3年)  
GRITセミナー(1年)

11月

第2回実力試験  
国内研修(2年)／学校公開  
文理・融合講座(3年)  
創立記念日

12月

キャリア探究対話(2年)  
終業集会  
冬期休業

1月

始業集会  
海外派遣(アメリカ)

2月

知道プロジェクト発表会  
海外派遣(台湾)

3月

卒業式  
終業式  
学年末休業

※令和7年度の計画です

1 期生（令和3年度入学） 水戸一高2年生

金子 さやか

（ひたちなか市立外野小学校出身）



私は附属中学校に初めて生徒会が発足してから、2年間副会長を務めました。高校でも生徒会に携わり、今は高校の副会長として活動しています。高校での生徒会のように長い歴史の中で、受け継がれてきた仕事や計画、行事は、発足して数年の中学生徒会ではほぼありませんでした。だからこそ、自分たちで企画、運営、引き継ぎの方法を新しく編み出すことができる魅力があります。前例に囚われずに、自由な発想で企画を提案し、よりよい学校を自ら創り上げる機会があります。生徒会で身に付けた、新しいことを創造する力は、これからの社会でより求められる力だと考えています。ニーズに対応する企画を仲間と共に議論し合い、企画が実現し、成功したときは、自身の成長と附属中学校の進歩と喜びを、同時に実感することができます。

白石 和奈

（ひたちなか市立外野小学校出身）



海外派遣で最も印象に残っているのは、現地のバディとアメリカでの高校生活を経験できたことです。丸一日バディと共に行動することで、特別な配慮ではなく、等身大の学校生活を経験できました。個人旅行では得難い、貴重な経験でした。また、スタンフォード大学やUCバークレーの講義を通じて、英語での長時間の授業や議論の参加にも挑戦できたことは大きな自信になりました。実際に海外で1週間近く過ごして、スピーキング力やコミュニケーション能力の不足を痛感したことが、大学生になったら留学するという目標を持つきっかけとなりました。様々な面で自己を見つめ直し、英語力を向上できる良い機会となる、海外派遣、みなさんもぜひ参加してみませんか？

2 期生（令和4年度入学） 水戸一高1年生

渡辺 優佳

（水戸市立三の丸小学校出身）



私は中学3年生の夏から弓道部に仮入部をしました。水戸一高の先輩方は、中学生に親身になって物事を教えてくれるため、体験部活動でも十分に実力をつけることができます。また、中学校での体験部活動を通して、高校で所属する部活を、3年間かけて慎重に選ぶことができることも、魅力の1つです。私も、バレーボール部、ソフトテニス部など、多くの部活動を体験しました。高校生になって、自分に最も合っていると感じた弓道部に、正式入部しました。そのおかげで、弓道部の活動に意欲的に取り組むことができます。また、中学生の頃から高校生との交流の機会を、他の学校よりも多く得ることができることも、本校の特徴であり、魅力です。

小柳 拓己

（水戸市立三の丸小学校出身）



本校では、新入生が校風を理解するため、世界で活躍する先輩方のお話を聞く機会があります。今年は、生命科学分野で新技術の開拓に取り組む神原秀記先生にご講演いただきました。神原先生の歩みは、本校の校是「堅忍力行」を体現しており、困難な状況でも粘り強く努力し続けることの大切さを実感しました。思春期を迎え、多くの悩みを抱える私たちにとって、先輩方の言葉は大きな励みとなりました。こうした偉大な先輩方を育てたのは、「至誠一貫」、「堅忍力行」を重んじる、自由で自主性ある本校の校風です。ぜひ、本校で、世界で活躍する先輩方のお話を聞いてみませんか？何事にも代え難い貴重な経験となること、間違いなしです。

3 期生（令和5年度入学） 3年生

一家 優太

（ひたちなか市立市毛小学校出身）



本校では、毎年6月に学苑祭を行っています。この行事の一番の特徴は、多くの場面で生徒が主体となり運営されている点にあります。私も2年生では学苑祭実行委員、3年生ではクラスの展示をまとめる展示責任者としてこの行事に関わり、本校の自由度の高さや、高校生を含む先輩方の熱量を肌で感じることができました。また、一般公開の前後で行われる「つどい」や「あとのまつり」では、生徒主体の個性あふれる多種多様なパフォーマンスが行われ、毎年大きな盛り上がりを見せています。学苑祭に関わることへのやりがいを感じるとともに、大きな充実感を得ることができます。そして、何より本校の良さを再認識することができます。皆さんも一緒にこの行事を創ってみませんか？

堤 望結

（水戸市立寿小学校出身）



クラスマッチには運動系と文化系の種目があります。私は文化系のカルタの団体戦に出場しました。昨年も出場し、準決勝で高校生相手に敗退してしまい、とても悔しかったのを覚えています。今年は予選を1位で通過し、午後のトーナメント戦に臨みました。決勝戦では緊迫した空気に圧倒されながらも、チームの皆で円陣を組んで励まし合いました。静寂した空気の中、札が読まれるたびに取り合いになりました。一瞬で勝負が決まります。私は必死になって札を取りました。そして、チームで優勝を勝ち取ることができました。今回の勝利は中学校開設5年目にして、中学校初のカルタ優勝、初の快挙です。高校生も交えて白熱した戦いを実感できるクラスマッチ。みなさんにもぜひ体験してほしいです。

## 4期生（令和6年度入学） 2年生

### 相田 和

（常陸大宮市立大宮小学校出身）



農業・地域探究では、水郡線で大子町に向かい、茶摘み体験と旧上岡小学校の見学を行いました。水郡線の車内では、景色を見たり校長先生のお話を聞いたりして、楽しいひとときを過ごしました。大子町に着いて最初に、施設の方の指導の下、茶摘み体験をしました。手作業で茶の葉を摘むことで、昔から受け継がれてきた日本の伝統を身近に感じることができました。次に、旧上岡小学校を訪問しました。かつての生活を肌で感じるとともに、過疎地域の今後について考えさせられるよいきっかけとなりました。この探究を通して、地域の魅力を外に発信していくことや唯一無二の文化を守っていくことの重要性を再認識しました。これからも、今回の探究で経験したことを活かし、学び続けていきたいと思ひます。

### 志村 拓真

（リリーベール小学校出身）



本校では、一昨年「足元を知る」の一環で「水戸一の道」を行っています。本校について、歴史や自然、文学など8つの項目に分けて調べ、プレゼンテーションと校内ツアーを実施します。調査では、各ジャンルの専門家から講義を賜ることがあります。情報の正確性だけでなく、自分たちの調査とは異なる視点で物事を捉えることができるので、発表の表現の幅も広がります。私は本校の自然を調査しましたが、多種多様な動植物が生息していることがわかったので、たくさんのことを伝えたくて、発表時間がギリギリになってしまったほどです。本プロジェクトは中学生活、ひいては高校以降のより広域に目を向けた学習活動にも非常に役立つそうです。皆さんが、我が校で学びを楽しむことができる日を心待ちにしています！

## 5期生（令和7年度入学） 1年生

### 田山 楓季

（大洗町立南小学校出身）



水戸一高附属中では、クラスマッチや学苑祭、歩く会などの行事を通じて、高校生と交流したり、クラスのみならずと団結することで絆を深めたりすることができます。また、毎日、一日の振り返りをタブレットに入力する時間があります。毎日の授業や活動を通しての気づきや自分の課題を振り返ることで、成長する手がかりとなっています。

私は塾に行かずに受験しましたが、本校の過去問を繰り返し解くことで、入学することができました。努力したことが今の充実した学校生活に繋がっています。努力すれば必ず報われます。ぜひ、みなさんも入学試験を受けてみてください。みなさんの入学を心からお待ちしております。

### 谷越 百華

（水戸市立五軒小学校出身）



私たちの学校では、1年生の5月に「全日探究」という探究活動があります。探究活動の中で、専門的な知識を持った先生方が様々なことを教えてくれます。特に印象に残った活動は、学校の植物の観察です。学校の多様な植物を観察するだけでなく、深く学ぶことができました。外に出て植物を観察する時間では、植物の名前を図鑑やタブレットなどで積極的に調べ、葉や実などをスケッチしたり、専門の先生に興味をもったことを尋ねたりして、みんな生き生きと活動していました。このように、興味・関心のあることをじっくりと探究できる時間があることはこの学校の大きな魅力であり、私が「学校生活が充実している」と感じる一つの理由です。



